国際ロータリー第2530地区（旧承認番号 3992）

KORIYAMA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT 2022－2023

Rotary　イマジン ロータリー

郡山ロータリークラブ ウェブサイト http://k-rc.main.jp/

第40回　2023年5月25日

会長挨拶

佐藤尚宏 会長

皆様、こんにちは。今日で5月の例会が終わり、来月からは年度最後の6月となって参ります。本日のプログラムは青少年奉仕委員会により、当クラブの会員でもあり、あさかホスピタル理事長の佐久間啓君の卓話となります。郡山ハッピーチャイルドプロジェクトという子供達のために行っている活動のお話しをして頂きます。

昨日、現・次年度のクラブ協議会が行われまして、多数の会員の皆さんの参加により、懇親と引き継ぎの情報交換をさせて頂きました。コロナ前のような集まりとなり、とてもホッといたしました。

幹事報告

中原喜範 副幹事

皆様のテーブルに例会変更のお知らせがありますので、そちらをご覧下さい。

親睦活動委員会報告

横山　大 委員長

6月17日、郡山ゴルフクラブでゴルフコンペを行います。10組を予約していますので、多くの方のご参加を宜しくお願いします。景品は郡山水産の海鮮を予定しております。

ニコニコBOX委員会報告

佐藤　聡 委員長

◎本日も例会へのご参加、ありがとうございます。佐久間啓君の卓話。楽しみにしています。　佐藤尚宏君

◎2週続けての休みになりますが、中原副幹事と打ち合わせしておきましたので、宜しくお願い致します。　橋本　勝君

◎ご無沙汰してます。今日は宜しくお願いします。　佐久間啓君

◎佐久間先生の卓話、楽しみにしています。幹事代理、宜しくお願いします。　中原喜範君

◎啓先生、お久しぶりです。卓話、宜しくお願いします。　池田達哉君

◎本日の卓話、楽しみです。佐久間先生、宜しくお願いします。

菅野秀士君、平松敏郎君、小田修史君
高橋孝行君、鈴木正晃君、太田　宏君
高橋裕一君、伊野泰司君、山口　仁君

◎子ども食堂の意義を佐久間先生から聞くことが、とても楽しみです。　鈴木禎夫君

◎ニコニコBOXですが、5/18時点で713,000円と目標の800,000円までもう少しです。皆様宜しくお願いします。　佐藤　聡君

プログラム紹介

鈴木正晃 青少年奉仕委員長

今月は青少年奉仕月間となっております。今日は会員卓話として、今年度青少年奉仕委員会の委員、そしてあさかホスピタル院長・理事長である佐久間啓君に「郡山ハッピーチャイルドプロジェクトについて」卓話を頂きます。郡山RCは青少年奉仕委員会で、昨年度より子ども食堂応援の募金を募っております。今月の理事会に於いて「郡山ハッピーチャイルドプロジェクト」に募金を寄付をすることが決まりました。今日の啓君の卓話を聞いて、応援したい、寄付したいという多くの会員の方のために、募金箱は6月まで置いてあります。

ゲスト卓話

「郡山ハッピーチャイルドプロジェクトについて」

社会医療法人あさかホスピタル
理事長・院長　佐久間啓君

あさかホスピタルは法人がいくつかあり、安積愛育園（子供から大人の障がいのある子供達の支援）や安積福祉会（介護）、という社会福祉法人、NPO法人のアイ・キャン（精神障がい者の地域支援）、アサカサービスセンター（食を通じて繋げる）などがありまして、今1,200人ぐらいの職員になっています。安積愛育園にはアルバ（総合発達支援センター）という子供の施設があります。そしてPORTAという子ども食堂をスタートしているというところです。

病院に受診する方の一番多い年代は10代です。2021年に児童思春期の専門病棟やデイケアもスタートし、今年の10月に専門外来の子供の心センターをオープン致します。子供達を健康に育てる地域にしたいという子供の精神科医療のニーズが今すごく高まっています。デイケアでの学習の為に、校長先生の経験もある先生を置いて、フリースクールとして単位を取れるなど、学校にスムーズに戻れるようなサポートもしています。今年の4月から、全国初の試みとして、県が入院児童生徒支援員という先生を2人配置してくれました。また、総合児童発達支援センターの「アルバ」には少し障がいの重い18歳未満の子達が入所しており、「チエロ」には6才までの

子供達なども通所しています。民間ではこういう形でやっているところはまだ少ないようです。市の児童発達支援センターの強化事業や、郡山市の発達障がい児の福祉支援なども、うちの療育スタッフで市の事業に協力しています。

うちのグループ全体で地域共生を図るチームというものを作って活動しています。先日も高校で講演をして来ましたが、来年度から初めて教育要綱で精神疾患が高校で教えられるようになります。うつ病や摂食障害、統合失調症など、中学の後半から高校でたくさん発症するのに、気づかずに治療を受けられず、症状が悪化する子が多いので、期待しています。我々精神科で若者のメンタルに早期介入というのはすごく大事なところです。

PORTAはイタリア語で「扉」という意味ですが、「PORTAの活動をきっかけに子供達の無限の可能性がある未来の扉を開いてほしい」という思いを込めて立てました。橋本善郎さんから「子供達には責任はないのに環境のせいで機会を奪われるようなことがあっては悲しいじゃないか、地域の子供達をサポートする何かを啓君やってくれ」と言われ、東邦銀行との私募債の寄付で背中を押された形で、子ども食堂をスタートしました。最初は地域の小学校の校長先生のところに行って、心配な子供さんたちに声をかけたり、そこに来られない家庭には食事を運んだりしました。それからチャレンジキッズとして、休みには色んな企画をして子供達や親御さんを集めたり、フードパントリーという食材を集めて子育て世代に配る活動などもしています。去年は240世帯に配りました。フードドライブとしては、病院グループの職員の食品を集めて配ったり、食を通じて子供達の支援・子育て支援をしています。そこで、ある出会いがありました。大高喬樹様（ライフフーズ）がどのような子供の支援をしているのかを見てみたいと言って下さって、それならば是非お手伝いしたいということで、冷凍庫を寄付して頂きました。そして「そこに定期的に冷凍食品を入れるから子ども食堂で配って欲しい」とのことでした。その後、大高喬樹様の息子さんが「仕組み作りをしませんか」ということで、郡山ハッピーチャイルドプロジェクトに繋がりました。地域の企業の皆さんに協力頂いて、それをしっかりと子ども食堂に支援できるような仕組みを作りましょうということでした。それは経済的なことや食材なども含め、仕組みをちゃんと作って配布し、その中でお互いにも協力できるんじゃないかということです。去年12月にプレスリリース行い、16社からの賛同も頂いて、募金箱も様々な場所に設置させて頂いております。

実は、大事なのは子供のメンタルヘルスで、何か心配なことがあった時は早く発見して早く介入することが大切なのです。しかし、全国的に子供さんの児童精神科を受診するまでというのは、早くて3ケ月、遅いと1年というレベルの状況なので、発達障がいとか精神疾患とか中高生精神疾患とか、いわゆるネグレクトが隠れていたりします。それは非常に重要なことで、無くさなければいけないと思いますし、我々が考えているのは精神とか障がいとか福祉の領域なので、誰もが地域で胸を張って生活できて、誰もが地域生活を楽しむことができて、誰もが社会参加ができるようにしようということです。例えばうちもグループで37人ぐらい障がい者雇用をしていますが、自分のところで障がい者と共に生きるということを実践しながら、地域の皆さんにも障がい者雇用をお願いしようとを考えています。

人と人、人と地域のつながりはとても大事であり、安全で健やかに生きることのできる社会づくりが大切であると考えています。私は、障がいへの理解というのは地域社会の文化度を表すと思っていますので、障がいやダイバーシティ、またそれぞれの価値観の自由を、どう共有できるかということが大事で、そのためには新たな仕組み作りが必要なのではないかと。やはり、企業と地域の共同があって初めて課題解決が図れると思いますし、我々は地域に根差して医療介護福祉を展開しながら、一つの企業としてその地域と連携して共同して課題解決を図っていきたいと考えています。それは一般的な社会貢献ではなくて、社会的な壁を自社の強みで解決することで、企業の意欲的な成長に繋げていくというような意識であり、あさかホスピタルグループとしては地域に働き掛けたいということで、SDGs（持続可能な社会）の「誰一人取り残さない社会」というのは、正に我々の仕事ではないかと考えています。そこで、グループ全体で心の声に耳を澄まそうというクレドを掲げています。社会の中で取り上げられなかった小さな声、或いは思いを言葉にできない方とか、そういう方々の支援をしています。誰もが世代・障がいを超えてお互いの存在を受け止められるような、自然に支え合う思いに溢れた社会を目指したいということで、こんな温かい社会ができたらいいんじゃないかということで、これからも続けて行きたい。

その中で、ハッピーチャイルドプロジェクトは、我々だけの活動ではなくて、地域の企業を巻き込んで、そして地域の子供達全体を支援するプロジェクトになっていきますので、是非ご協力を頂ければ大変ありがたいと思います。

出席報告

有賀隆宏 委員長

総員／106名　出席／52名　欠席／54名
出席率／49.10%　前回修正率／100%
他クラブ出席／2名

次回 第42回例会
令和5年6月8日㈭
ゲスト卓話

「現在の郡山商工会議所
青年部（YEG）について」
郡山商工会議所青年部（YEG）
会長　吉田一成氏

アサヒビール㈱南東北支社
福島支社長　標　裕之
〒980-0811　仙台市青葉区一番町 4-6-1
仙台第一生命タワービル 14 階
☎ 022-261-2219　FAX 022-212-1067

㈲ かねい
代表取締役　橋本謙一
〒963-8005　郡山市清水台 1-7-23
☎ 932-0318　FAX 932-0319

会報第40号（通算3417号）2023.6.1発行　／　編集責任者:橋本 勝　編集:クラブ会報委員会　委員長 矢部 浩樹
副委員長 石井 祐一／委員 青木 誠・伊藤 清郷・大山 勇起